

事業実施報告

開催日	令和5年9月23日(土)～9月24日(日)		
事業名	テンちゃんキャンプ (ボランティア自主企画事業)		
開催場所	国立岩手山青少年交流の家	参加人数	58人
対象	盛岡市、滝沢市、八幡平市、雫石町の小学校3～6年生		
関係機関名			

状況報告 (事業の内容・事業の成果と課題について記載)

[事業の内容]

1泊2日の日程で「友達づくり (アイスブレイク)」・「野外炊事 (ドライカレー)」・「ナイトハイク」・「宝さがし」の4つのプログラムを行った。当日までの準備 (企画立案・実地踏査) は、ボランティア・ブラッシュアップ・プロジェクトにおいて行った。

今年度は、子供たちにメディア等の情報に頼りすぎず、体験や自分の体で感じることの大切さを意識させるような内容を各プログラムに盛り込んだ。野外炊事では、ドライカレーのレシピを自分たちで作ってそのレシピを基に実際に調理した。ナイトハイクでは、暗闇の自然の中で動物や虫の鳴き声を聞くこと、臭いを感じることを意識させた。宝さがしでは、地図を読み取り、また前日の活動の振り返りをヒントとして宝を探し、見つけた宝を使ってフォトフレームを作成した。

参加した子供たちが楽しく安全に過ごすことができるように、子供たち5～6人の各班にボランティア2～3名ずつ配置するとともに、統括リーダー・全体補助がフォローできる体制とした。また、ミーティングを行うことでボランティア同士がコミュニケーションを深め、子供たちとの関わり方や活動の安全管理について互いに情報共有しながら事業を進めた。

[成果]

・事業後の参加者アンケートでは、事業全体に関する満足度について、100%の参加者から「満足」「やや満足」の評価を得ることができた。

・感想では、「初めてテンちゃんキャンプに参加したけど、いろいろなことを学んで楽しくできたのでまた来たい」「最初は知っている人が一人もいなかったから緊張していたけれど、みんな話しかけてくれてとても嬉しかった」「このテンちゃんキャンプで友達も増えて活動も楽しかったし、いろいろな体験ができた」「また友達に会いたいし、ボランティアにも会いたい」などの声が寄せられた。子供たちにとって心に残る事業になるとともに、ボランティアが参加者に寄り添い事業を支えていたことを改めて感じさせられた。

・ボランティアの振り返りにおいても、「子供たちと打ちとけあい、安全に活動ができた」「みんなの企画が一つとなり最高の企画となった」「子供たちときちんと向き合い、良いことや悪いことを誠実に伝えた結果、心を開いてくれた」「子供たちの成長を感じることができた」「自分自身も成長することができる事業であった」など事業の成功を感じている意見が多くあった。

・全日程を通して大きなけがや事故がなく無事に終えることができた。ボランティアが連携を取り合い、子どもたちを上手に支援したため事業全体がいい雰囲気のものであった。また、「ドライカレーでは、みんなで情報を伝えあって協力して作るのが楽しかった」「動物のおしっこのおいを初めて嗅いでとても臭かった」「夜の自然の中に入り楽しかった」「宝さがしでは探すのも楽しかったし、みんなでクイズに答えるのが楽しかった」との感想があり、ボランティアがプログラムに盛り込んだ体験も効果的であったと考えられる。

[課題]

・事業実施日までにボランティア・ブラッシュアップ・プロジェクトを計画的に実施し準備を進める予定であったが、各プログラム担当の事前打ち合わせがうまくいかず、企画書の提出が遅れた。みんなが集まる機会 (ボランティア・ブラッシュアップ・プロジェクト) に、より有効に話し合いや実地踏査を行うため、全体で話し合うべきことを精査する必要がある。

状況写真



「友達づくり」



「野外炊事・ドライカレー」



「ナイトハイク」



「宝探し」



「集めた宝で、フォトフレームづくり」



「集合写真」